

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 5 月 25 日 (2017.5.25)

【公表番号】特表 2016-526283 (P2016-526283A)

【公表日】平成 28 年 9 月 1 日 (2016.9.1)

【年通号数】公開・登録公報 2016-052

【出願番号】特願 2016-512915 (P2016-512915)

【国際特許分類】

H 0 1 F 21/06 (2006.01)

H 0 1 L 21/8246 (2006.01)

H 0 1 L 27/105 (2006.01)

H 0 1 L 29/82 (2006.01)

H 0 1 L 43/08 (2006.01)

H 0 1 F 21/08 (2006.01)

H 0 1 L 27/04 (2006.01)

H 0 1 L 21/822 (2006.01)

【F I】

H 0 1 F 21/06 Z

H 0 1 L 27/10 4 4 7

H 0 1 L 29/82 Z

H 0 1 L 43/08 Z

H 0 1 F 21/08

H 0 1 L 27/04 L

H 0 1 L 27/04 V

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 5 日 (2017.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インダクタの磁界を修正する方法であって、

密封されたエンクロージャ内のイオン化された磁性粒子を含む構成要素の電極に印加される電位を調整することによって前記イオン化された磁性粒子の動きを選択的に制御することによってインダクタの磁界を修正するステップを含む方法。

【請求項 2】

前記電極は、前記インダクタの前記磁界を横断するように位置付けられる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記電位は、前記イオン化された磁性粒子を前記電極に対して前記インダクタの前記磁界を横断する方向に移動させる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記イオン化された磁性粒子は、第 1 の形態に配置されたときに、前記インダクタの前記磁界を第 1 の量だけ調整し、

前記イオン化された磁性粒子は、第 2 の形態に配置されたときに、前記インダクタの前記磁界を第 2 の量だけ調整し、

前記第 1 の量は前記第 2 の量とは異なる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記イオン化された磁性粒子の動きを選択的に制御するステップは、電子デバイスに組み込まれたプロセッサにおいて開始される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記インダクタに電流を印加するステップをさらに含み、前記インダクタは前記電流に応答して前記磁界を生成する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記インダクタの前記磁界を修正すると、前記インダクタの実効インダクタンスが修正される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

1 つまたは複数のインダクタパラメータを選択するステップと、

前記 1 つまたは複数のインダクタパラメータに基づいて前記インダクタの前記磁界を修正するステップとをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

インダクタと、

前記インダクタに電流が印加されたときに前記インダクタの磁界に作用するように前記インダクタに近接して位置付けられた第 1 の可変磁束密度構成要素であって、密封されたエンクロージャ内のイオン化された磁性粒子を含み、電極間に電位が印加されたことに応答して前記イオン化された磁性粒子を動かすように構成された電極を備える第 1 の可変磁束密度構成要素とを備える装置。

【請求項 10】

前記第 1 の可変磁束密度構成要素は、前記インダクタの前記磁界を横断するように位置付けられる、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記第 1 の可変磁束密度構成要素は、前記イオン化された磁性粒子と前記電極とを含むインダクタンス制御構成要素を含む、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 12】

前記イオン化された磁性粒子のうちの少なくとも 1 つは、鉄系化合物を含む、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 13】

前記イオン化された磁性粒子のうちの少なくとも 1 つは、

ナノスケール Fe_3O_4 コアと、

SiO_2 シェルとを備える、請求項 12 に記載の装置。

【請求項 14】

前記第 1 の可変磁束密度構成要素に結合されたコントローラをさらに備え、前記コントローラは、前記第 1 の可変磁束密度構成要素に制御信号を印加することによって前記インダクタの実効インダクタンスを制御するように構成される、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 15】

命令を記憶する非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記命令は、プロセッサによって実行されたときに、前記プロセッサに、請求項 1 に記載の方法を実行させる、非一時的コンピュータ可読媒体。